学習内容報告書 フォーマット

学校名	静岡県沼津市立静浦小中一貫学校
授業者	太田　将人

1.　単元計画

1-1.　単元名

卒業レポートを書こう

1-2.　学年

９年生

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合

1-4.　単元の概要

「課題の設定」では、沖縄修学旅行で学んだ情報から、静浦について調べていきたい内容を決めていく。その際に、情報収集の手段として、「本・インターネット」「フィールドワーク」「インタビュー・アンケート」の３つを確認し、夏休みの課題として設定し、調べてくるようにした。
「整理・分析」では、各自が集めた情報を共有し、足りないものを補うようにした。一度まとめたあとに、フローチャートに卒業レポートの流れを記入した。そうすることで、どのように書けばよいかが分かり、まとめの時間の布石となる。今回、中間発表を行い、レポートの流れに不備がないかを自分だけでなく、クラスメートを確認する時間を設けることができた。
「まとめ」では、発表を経てよいものとなったフローチャートをもとに、レポートを書いていく。
「表現」では、書いたレポートをもとに、最終発表を行った。班員にレポートを見せながら、静浦・沼津のこれからをいろいろな視点で考える時間として設定をした。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

本校の９年生は、総合学習のまとめとして、静浦学習を行う。静浦漁港、わかめ、サンゴなどのことを学び、沖縄修学旅行で共通や特出したことを静浦・沼津はどうかと振り返り、地元愛を養いたい。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

・静浦や沼津のこれからを考える活動を通して、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
・集めた情報をもとに、自分の主張とする答えを導き出す。
・地元である静浦・沼津のことを好きという地元愛の心を養う。

1-7.　単元の展開（全 10 時間）

時数	学習活動・主な内容	○教師の指導 / ☆主な評価 ・外部連携 / 使用教材等
1 2	１次：卒業レポートのテーマを決めよう ○静浦・沼津で、調べ伝えたいテーマを決めよう。	○沖縄修学旅行の発表を経て、静浦・沼津について気になることは何が挙げられるかを考えさせる。 ☆今まで学習してきた地域学習の中から興味あるテーマについて解決したい問いを作ろうとしている。
3 4	２次：必要な情報を集めよう ○レポートを書くために、どんな情報が必要かな。 ○情報を得るためにどのようにして手に入ればいいかな。	○フローチャートを渡し、レポートを書く流れをイメージさせる。 ○情報の収集方法として、「本」「フィールドワーク」「インタビュー」を確認する。 ☆問いを解決するためには、どのような情報が必要かを考えようとしている。
5 6	３次：集めた情報を整理しよう ○集めた情報を共有しよう。 ○集めた情報をフローチャートに整理しよう。 ○中間発表をしよう。	○同じようなテーマを選んだ生徒と情報の共有をする。 ○歴史民俗資料館・沼津御用邸に行き、昔の漁や生活などを知る。 ☆フローチャートを書く時に、仮定と結論が正対しているかを友達と確認しようとしている。
7 8 9 10	４次：卒業レポートをまとめよう ○卒業レポートの構成を考えよう。 ○卒業レポートを書こう。 ○卒業レポートを発表しよう。	○卒業レポートの見本を提示し、構成を確認する。 ☆レポートの型式に沿って、書いている。

2.　学習活動の実際

2-1.　単元における位置づけ

単元　10　時間中の　5　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

A　：フローチャートに卒業レポートの情報をまとめ、レポートを書くことができると思っている。
・フローチャートの流れをクラスメートに説明をする。
・発表を通して感じたことを伝え合う。
A“：フローチャートの内容を見つめ直し、レポートをよりよいものにしようと考え直す。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	＊教師の指導・支援 / ☆評価の視点（方法）
○フローチャートの流れを確認しよう。 ・この流れで大丈夫だろう。 ・まだ、足りないことがあったかな。	
◎班内で卒業レポートの流れを発表しよう。 ・仮定と結論が正対していてよい発表であった。 ・結論をいうためには、このような情報が必要じゃないかな。 ・結論が正対していないから、こういう風にかえたら正対するのでは。	＊気になったワードは、感想用紙に記入をし、相手に伝えよう。
○発表を終えての感想を書こう。 ・レポートの流れがちぐはぐな場所があったので、そこを直していきたい。 ・仮定と結論が正対していることがクラスメートに認められたので自信がついた。 ・もっと情報を仕入れて、レポートがかけるようにしたい。 ・中間発表を経て、レポートのことをよく考えることができた。	☆中間発表を通して、フローチャートの流れを見直し、よりよいレポート作成への意欲をもつ。 （ワークシート・振り返り）

3.　今回の活動の自己評価

・互いに発表を聞く際、どこが核となるものなのかをわかりやすく説明できるように事前に指導をする必要があると感じた。仮定と結論が正対することがレポートにとって大事なものであるので、そこがずれないように全員で意識してくことが必要である。そのため、チェックシートなどを配付し、確認しながら聞くこともよいと感じた。

4.　今後の課題

・卒業レポートのテーマ設定が、「沖縄修学旅行で学んだこととの比較」を選んだ生徒の数が多くなってしまった。これは、テーマ設定の時間の際に手元にある情報が沖縄で得たものがとても多かったためである。そのため、来年以降は、沖縄修学旅行で学んだことの発表のあと、学校の創立 50 周年記念誌を朝読書の時間や読解、総合の時間で読み込みをしたり、地域の歴史民族博物館へ見学に行ったりして、静浦のことを学んだ上でテーマ設定をしていきたい。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

今後の課題にも記載しているが、沖縄との比較にならないようにしたい。戦争関係が沼津空襲と沖縄地上戦との比較となりやすいので、静浦の情報をしっかりと入れていくことが大切である。地域学習であることを忘れずに行っていきたい。また、まとめた後は、今まで総合的な学習の時間にお世話になった方々を招聘して発表会を行って行きたい。